

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「繰上償還条項付シェール関連株ファンド14-11(限定追加型)」は、このたび、第10期の決算を行いました。  
当ファンドは、シェール関連株マザーファンドの受益証券への投資を通じて、実質的に米国、カナダおよびメキシコのシェール関連企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第10期末(2017年4月10日)

基準価額	7,818円
純資産総額	1,081百万円
第9期～第10期	
騰落率	6.6%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

# 繰上償還条項付 シェール関連株ファンド14-11 (限定追加型)

追加型投信/海外/株式

作成対象期間：2016年10月12日～2017年4月10日

## 交付運用報告書

第9期(決算日2017年1月10日)

第10期(決算日2017年4月10日)

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

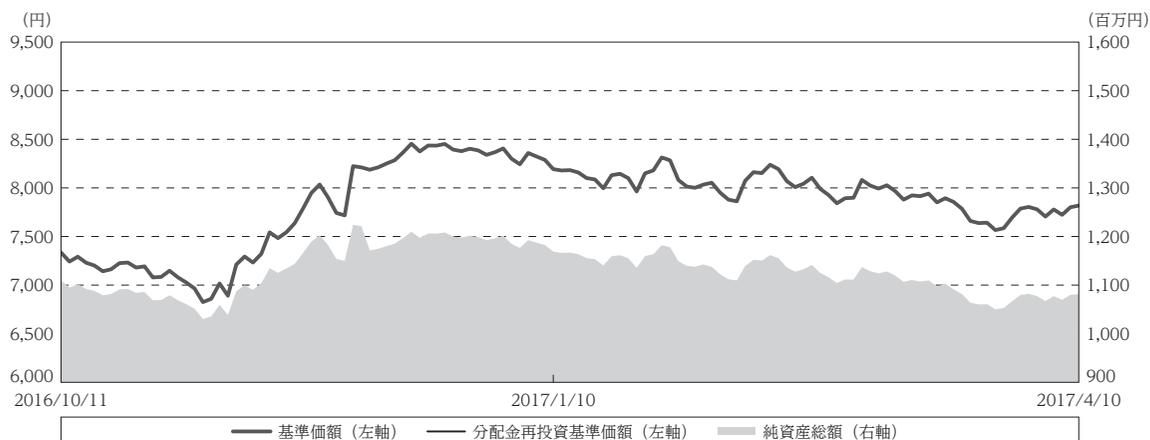
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2016年10月12日～2017年4月10日)



第9期首：7,334円

第10期末：7,818円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：6.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2016年10月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「シェール関連株マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・トランプ米政権の下、インフラ投資が拡大するとの見方が強まる中、業績の拡大が期待できる建設資材株や化学株が大幅に上昇したことがプラス要因となりました。
- ・個別銘柄では、VULCAN MATERIALSやMARTIN MARIETTA MATERIALS、EASTMAN CHEMICALなどが上昇したことがプラス要因となりました。
- ・円安米ドル高が進んだことがプラス要因となりました。

#### (主なマイナス要因)

- ・シェール関連の探査・掘削株の多くが高値警戒感の高まりを受けて反落したことがマイナス要因となりました。

- ・個別銘柄では、GULFPORT ENERGY CORPORATIONやCARRIZO OIL & GAS、SM ENERGYなどが下落したことがマイナス要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

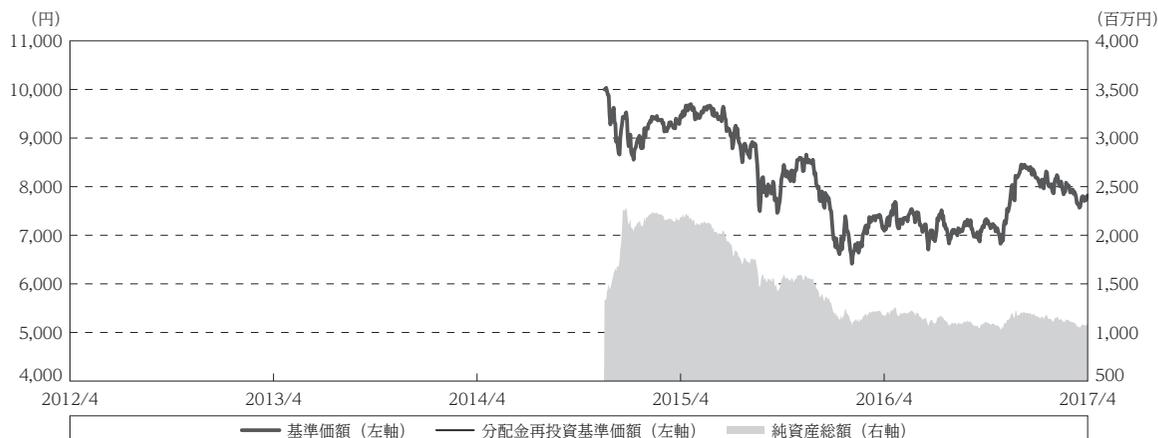
(2016年10月12日～2017年4月10日)

項 目	第9期～第10期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	59 (23) (33) ( 2 )	0.750 (0.295) (0.428) (0.027)	(a)信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	6 ( 6 )	0.075 (0.075)	(b)売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.001 (0.001)	(c)有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	2 ( 1 ) ( 1 ) ( 0 )	0.020 (0.013) (0.006) (0.000)	(d)その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	67	0.846	
作成期間中の平均基準価額は、7,803円です。			

- (注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。  
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2012年4月9日～2017年4月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2014年11月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年11月21日 設定日	2015年4月9日 決算日	2016年4月11日 決算日	2017年4月10日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,427	7,160	7,818
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 5.7	△ 24.0	9.2
S&P 500指数(円換算後)騰落率 (%)	—	3.3	△ 11.6	18.6
純資産総額 (百万円)	1,335	2,180	1,178	1,081

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2015年4月9日の騰落率は設定当初との比較です。  
 (注) S&P 500指数(円換算後)は当ファンドの参考指数であり、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

## 投資環境

(2016年10月12日～2017年4月10日)

当作成期の北米株式市場は、2016年10月末にかけて景気指標が市場予想を下回ったことなどからもみ合う展開が続き、11月に入ると米大統領選挙を巡る不透明感が高まり、軟調に推移しました。しかし、トランプ氏が勝利し、同氏の財政出動や金融規制緩和等への期待を背景に反発しました。12月中旬以降は米連邦公開市場委員会（FOMC）で追加利上げが決定されたことに加え、2017年の利上げ見通しが引き上げられたことから、もみ合う展開となりました。2017年に入ってからは、トランプ米政権の政策に対する期待が再び高まり、上値を試す展開となりました。3月以降は、利上げが再び実施されたことに加え、トランプ米政権の政策運営に対する不透明感が高まったことなどから、高値圏でもみ合う展開となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2016年10月12日～2017年4月10日)

### < 線上償還条項付シェール関連株ファンド14-11 (限定追加型) >

「シェール関連株マザーファンド」の組入比率は作成期を通じて高位を維持して運用しました。実質株式組入比率は概ね86%から93%台で推移させました。2016年10月下旬から11月上旬、11月下旬から2017年1月上旬および3月下旬から期末にかけては、高値警戒感などから原油価格の下落が見込まれると判断し、実質株式組入比率を80%台後半に引き下げました。

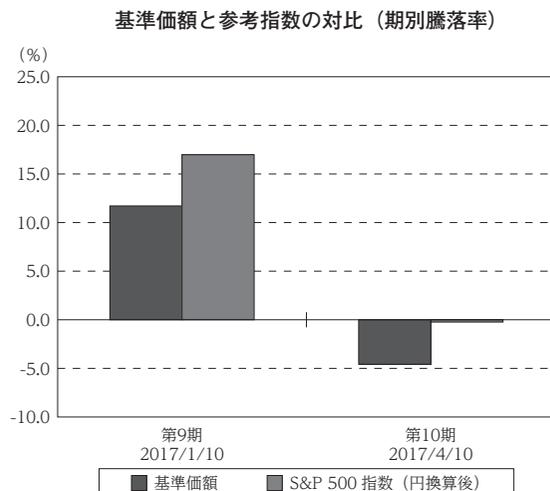
#### ○シェール関連株マザーファンド

原油価格が上昇基調からもみ合う展開に移ったと判断し、シェール関連の探査・掘削株のウェイトを段階的に引き下げる一方、トランプ米政権のインフラ拡大政策による恩恵を受けると見込まれる素材株、化学関連株のウェイトを高めました。2017年3月以降は、米国の追加利上げに対する警戒感が後退する中、株価の出遅れ感を判断し、公益株のウェイトを引き上げました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年10月12日～2017年4月10日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、S&P 500指数（円換算後）です。

## 分配金

(2016年10月12日～2017年4月10日)

当ファンドは、年4回、1月、4月、7月および10月の各月の9日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。

当作成期の分配につきましては、第9期、第10期共に見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項目	第9期	第10期
	2016年10月12日～ 2017年1月10日	2017年1月11日～ 2017年4月10日
当期分配金	—	—
(対基準価額比率)	—%	—%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	127	128

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (投資環境)

北米株式市場は、トランプ米政権の税制改革などの政策や政権の運営に対する不透明感などから一時的に調整する局面があると考えます。しかし、景気拡大の継続に伴う企業業績の改善基調に変化はなく、調整後、株式市場は再び上昇基調を辿ると予想します。シェール関連株については、現状の原油価格の水準でも採算が十分にとれる優良なシェール油田を中心に生産が増えつつあります。シェールオイルの増産により利益の改善が期待できる企業は、株式市場において選別投資の対象として注目を集めることが予想されます。

### (運用方針)

#### <繰上償還条項付シェール関連株ファンド14-11 (限定追加型)>

「シェール関連株マザーファンド」の組入れを高位に維持する方針です。

#### ○シェール関連株マザーファンド

ファンドの基本方針に基づき、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス/オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に投資をします。個別では財務状況が良好であり、効率的な生産活動を行っている石油掘削関連株の選別を強化します。なお、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

## お知らせ

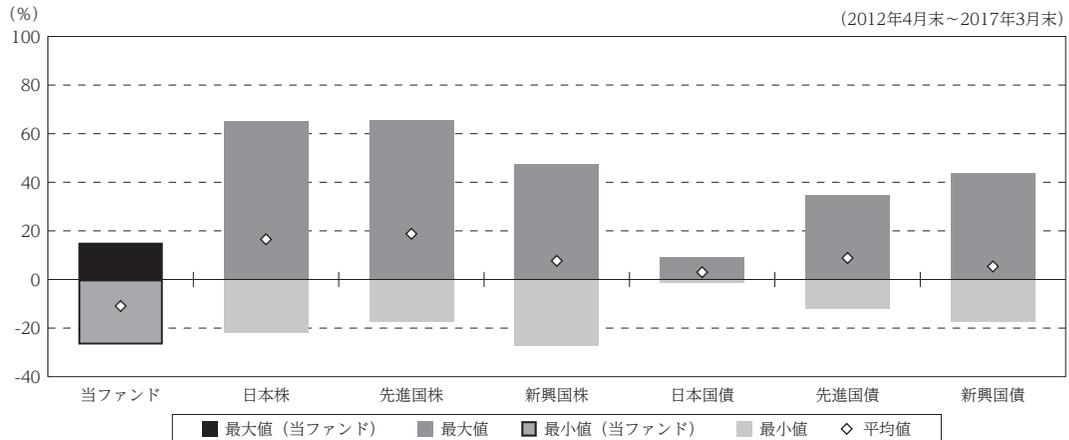
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2014年11月21日から2018年4月9日までです。	
運用方針	<p>シェール関連株マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、実質的に米国、カナダおよびメキシコのシェール関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資します。信託期間中に、分配金込基準価額（基準価額（1万口当たり）に設定来の分配金（1万口当たり、税引前）累計額を加算した額とします。）が、12,000円以上となった場合には、組入資産を売却し、すみやかに短期金融商品、公社債等による安定運用に切替え、繰上償還します。なお、繰上償還の条件を満たした場合、その後に分配金込基準価額が当該水準を下回っても、繰上償還を行います。また、分配金込基準価額が12,000円以上となってから満期償還日までの期間が短い場合には繰上償還を行いません。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	シェール関連株マザーファンド	米国、カナダおよびメキシコの取引所上場（上場予定を含みます。）株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	シェール関連株マザーファンド	<p>投資にあたっては、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス／オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に着目します。</p> <p>ポートフォリオの構築にあたっては、投資環境および企業の業績動向、成長性等を勘案して行います。</p>
分配方針	<p>年4回、1月、4月、7月および10月の各月の9日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。</p> <p>分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</p>	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	15.1	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 26.8	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 1.3	△ 12.3	△ 17.4
平均値	△ 10.9	16.5	18.8	7.7	3.0	8.9	5.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年4月から2017年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、2015年11月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2017年4月10日現在)

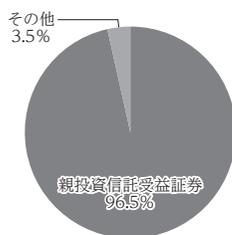
#### ○組入上位ファンド

銘 柄 名	第10期末
シェール関連株マザーファンド	96.5%
組入銘柄数	1銘柄

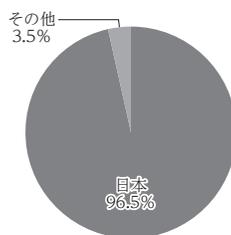
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

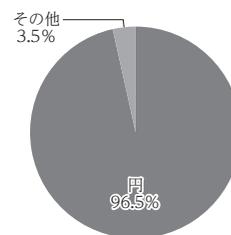
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

### 純資産等

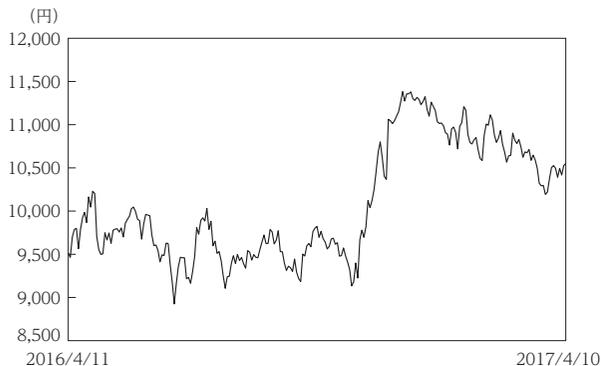
項 目	第9期末	第10期末
	2017年1月10日	2017年4月10日
純 資 産 総 額	1,168,788,513円	1,081,467,808円
受 益 権 総 口 数	1,426,517,418口	1,383,369,187口
1万円当たり基準価額	8,193円	7,818円

(注) 当作成期間(第9期~第10期)中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は129,906,487円です。

## 組入上位ファンドの概要

### シェール関連株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2016年4月12日～2017年4月10日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	16 (16)	0.154 (0.154)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.002 (0.002)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)	0.028 (0.027) (0.001)
合 計	19	0.184

期中の平均基準価額は、10,111円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

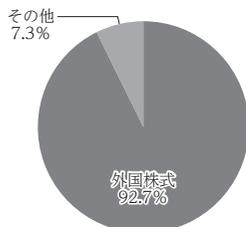
【組入上位10銘柄】

(2017年4月10日現在)

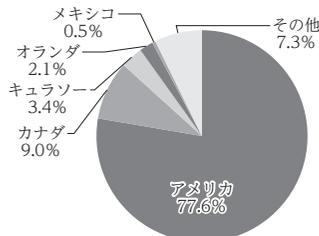
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 UNION PACIFIC CORP	運輸	米ドル	アメリカ	4.2%
2 DOW CHEMICAL CO/THE	素材	米ドル	アメリカ	3.8%
3 HONEYWELL INTERNATIONAL INC	資本財	米ドル	アメリカ	3.8%
4 PIONEER NATURAL RESOURCES CO	エネルギー	米ドル	アメリカ	3.7%
5 RANGE RESOURCES CORP	エネルギー	米ドル	アメリカ	3.6%
6 CHEVRON CORP	エネルギー	米ドル	アメリカ	3.5%
7 SCHLUMBERGER LTD	エネルギー	米ドル	キュラソー	3.4%
8 EQT CORP	エネルギー	米ドル	アメリカ	3.1%
9 GENERAL ELECTRIC CO	資本財	米ドル	アメリカ	3.1%
10 NEXTERA ENERGY INC	公益事業	米ドル	アメリカ	3.0%
組入銘柄数	50銘柄			

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

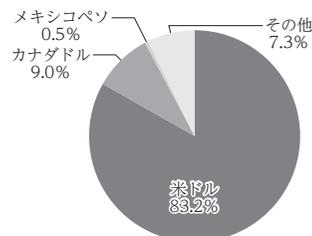
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
 (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

#### ○シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。